

(別紙様式第5号)

6次産業化推進整備事業(農業主導タイプ)点検評価書(平成23年度分)

地方農政局等名
東北農政局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
農事組合法人 新田営農組合	平成19年4月17日	手塚 隆	10人
主たる事務所の住所	山形県米沢市大字上新田1297番地	TEL FAX	セキュリティに配慮し、 非公開とします。

1 事業の実施状況

[取組状況について]

本事業による施設の完成が年度末となったため、平成23年度は当該施設による加工・販売の実績はなかったが、平成24年度から加工所・直売所が稼働し、農産物の加工及び販売を開始している。

[経営状況、事業による変化等について]

新設備の完成が年度末となったことから、本事業による変化はみられないが、平成23年度は播種直後の大雨被害により、大豆の収量低下による売上高の減少がみられる。

2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高の増加	新設備の完成が年度末となったことから、平成23年度の売上高に本事業分は反映されていないことに加え、平成23年度は大豆の播種直後の大雨被害のため、収量が低下したことから大豆の売上が減少し、目標を達成できなかった。 今後、施設が稼働することによって加工品の製造・販売が行われれば、成果目標の達成は図られるものと見込まれる。
(雇用の創出に関する目標) 雇用者の増加	平成23年度は計画どおり雇用の目標を達成している。
(地域の活性化に関する目標) [耕作放棄地の解消面積の増加]	平成23年度は計画どおり耕作放棄地の解消実績はない。

3 施設等の利用状況についての所見

[新規導入機械の利用状況について]

本事業による設備の導入が平成23年度末となったため、当該設備の利用実績はない。

4 6次産業化法人と連携法人の取引状況について

該当なし

5 改善措置等に対する所見及び指導内容

(1) 成果目標について

当該施設の完成が年度末となったことから、当該施設による加工・販売実績がなかったこと、大雨被害により大豆の収量が低下したことから、平成23年度の売上高の増加の成果目標は達成されていない。
平成24年度からは施設が本格稼働していること等から、目標は達成されるものと見込まれる。

(2) 施設等の利用状況について

平成22年度の利用計画の目標を達成している。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。